

# CHEER!!

No.20

チア→>>>CHEER

応援すること・喝采すること・激励すること  
元気がよいこと・気分のよいこと・おいしいこと



それぞれの卒業後を追う  
株式会社ゼネック  
代表取締役社長兼CEO／美馬芳彦さん

エリア探訪  
「大映通り商店街」と共に／山本明彦さん

同窓会の広場  
同窓会中国支部結成直前準備会  
同窓会滋賀県支部交流研修会

ニュースリリース  
待ちわびた新体育館ついに竣工  
産官学連携の窓口・リエゾンセンター開設  
同窓会入試／入試情報

卒業生リレーエッセイ  
鈴木 創介／植田 哲也／杉本 学

ガンバルヒト・強化クラブ編  
硬式野球部・サッカー部対談



今、大学スポーツが熱い！野球ではハンカチ王子こと斎藤佑樹投手の人気、サッカーでは現役大学生が日本A代表に選出されるなど大きな盛り上がりを見せる。私たちの母校も負けず劣らずの活躍で学園旋風を巻き起こしている。今回は強化クラブに指定され、活躍を見せる硬式野球部主将・深井賢太郎さんとサッカー部副主将・相沢竜二くん（以下、

だから結果を出さないといけないですね。  
**サッカー部副主将・相沢竜二くん（以下、相沢）** そうそう期待されているのは感じます。実績のある監督・コーチに指導してもらっていますし、高校などで実績のある選手が入部してくることも聞いています。選手自身も試合に出場できるかどうか危機感を持ちますし、チーム内の競争力やモチベーションもあがりますよ。チームの総合力があがっていくのはとても良いこと、強化クラブに指定してもらったのは先輩がたが積み上げてくれた実績のおかげなので感謝しながらプレーしています。  
**深井** プレー以外でも学生生活などでしっかりしないといけないって気になりましたよね。みんな強化クラブの野球部サッカー部なんだなって見えますし、それで中途半端なことしたら「あいつらダメやん」と思われますしね。学生の模範になれるようにしないとダメですね。  
**相沢** 僕たちは現在、関西の2部リーグ

## 強化指定クラブを直撃!! 硬式野球部×サッカー部

強化クラブとは…京都学園大学では、クラブ活動の活性化に、より効果的な援助をにおこなうため、硬式野球部およびサッカー部を強化クラブとして指定しました。硬式野球部は、現在、プロ野球で優秀投手に贈られる「沢村栄治賞」（通称「沢村賞」）で知られる故沢村栄治投手ゆかりの学園として、サッカー部は、プロリーグ及び国際大会で社会の関心が高く、青少年の育成に貢献できる競技として指定しました。

に所属しているのですが、2部Aブロックで5位となり目標の2部残留は達成できませんでした。格上の同志社大学戦でも負けはしましたが、全員でしっかりと連携し守ることができ、選手のみならずこのリーグでプレーする自信がついたんじゃないでしょうか。  
**2人はチームをまとめる立場だと思いますが、常に選手に伝えていることはありますか？**  
**相沢** 僕は自分がチームをまとめるってタイプじゃないので、下級生と上級生、監督・コーチと選手のパイプ役になっていきます。その中で声を出して盛り上げる、って感じでしょうか。  
**深井** 卒業された先輩から学んだんですが、チームの責任は主将である僕の責任。選手のみならずはやる気の出ないとき、如何にして全力に近いプレーをするか、その大切さを伝えてきました。

**今後の目標は？**  
**相沢** 秋季リーグでは強豪の大学と対戦する可能性が高いです。その中でも自分たちのプレーを忘れず上位に食い込めればと思っています。そして近い将来、1部リーグで活躍できれば嬉しいですね。精一杯頑張りますよ。  
**深井** 僕は4回生なので引退します。後輩のみんなには絶対佛教大学を破り神宮大  
**先輩の同窓生へメッセージ**  
**相沢** 京都学園の名前を汚さないよう全力でプレーしています。これからのリーグ戦も全力を尽くしてみなさんに良いニュースを届けたいと思っています。ぜひ会場に来ていただいて応援してください！  
**深井** 大学からの支援には本当に感謝しています。恩返しのためにも全国大会へ出場して大学の名前を全国へ轟かせます。卒業生のみならずも球場へ足を運んでいただき、後輩たちの活躍を見てやってください。  
**深井賢太郎くん（4回生）／硬式野球部主将／東山高校出身**  
**相沢竜二くん（3回生）／サッカー部副主将／洛北高校出身**



ビジネス

それは真摯な姿勢

それは発想の具現化

そして、それは相手への敬意。

# 美馬 芳彦

Yoshihiko MIMA

本文 鈴木 創介

パートナーと呼ばれる企業を目指し

「ビジネスの基本は相手に対する敬意です。礼儀を尽くすことでそこに新たなビジネスチャンスが生まれます。たとえば『挨拶』。これは人の知恵が生み出した最も基本的なコミュニケーション手段。あなたに敬意を持っていませんよ。仲良くしてください」というメッセージがこめられた大切なシグナルです。たとえば、『ビジネススーツ』。これはあなたに敬意を表します。というビジュアル的メッセージ。実は敬意のベースにあるのは単なる人への思いやりなんです。たとえば、その人がクライアントでも、上司でも、後輩でも家族でも。誰に対しても同じこと。大人として、プロとして忘れてはならない『自律神経』だと考えています」

昭和54年経済学部卒業の美馬芳彦さんは、企業や行政などのシステム開発におけるコンサルティングを基本としたトータル・ソリューションの提供をする「株式会社GENECH（ゼネック）」(本社・京都市)の代表取締役社長兼CEOを務める53歳。膨大に膨らみ続ける情報量や進化するテクノロジーが企業だけでなく街や家庭にまで浸透し、文字通りのユビキタス社会が到来した今、美馬さんはパートナーとなる企業の成長につながる成果を得るべく、日夜努力を欠かさない熱血経営者だ。

「私たちの仕事は、製品や商品と違ってカチの無いもの。だから『どうぞこれを買ってください』と言うことはできません。とすれば、どうやってビジネスを成り立たせていくのか。答えは信頼関係しかありません。それは情報収集できる『アンテナ』、企画提案できる『アタマ』、目標を実現する『スキル』、お客様の最善を考える『ココロ』が成すもの。そして安売りや煽りではなく、確実な知識と実力を以て胸を張って進む。その先には『パートナー・カンパニー』という何ものにも変えがたい評価が待っているはずです」

起業のきっかけは大学時代のアルバイト

美馬さんが京都学園大学に入学した理由は地元・亀岡にある大学だから。高校生のころの寿司屋でのアルバイト経験から、漠然とながら将来は自分で店を持つのも良いかもしれないと考えていた美馬さんは、大学入学後も亀岡に暖簾(のれん)を構える寿司屋で毎日深夜まで働いた。

「大学時代に一生懸命になった寿司屋でのアルバイトが今のビジネスに対する理念の根底になっています。常に自信を持たせてくれる大将のお陰で小中高と大人しかったのが嘘のように快活になり、掛け合い漫才のような接客が喜ばれ充実した日々が送れたことに感

全てのクライアントに  
「右腕」と呼ばれるために。

謝していますし、笑顔で朝から晩まで働き、あつという間に店舗を拡張して豊かに暮らす大将に憧れましたよ。厳しく接しながらも何くれとなく面倒を見て、若手を育て上げる「職人」の世界がすごく好きでしたしね」

大学生活では、ウィークリーコンサート部に入部するとともに、学友会・文化連合協議会

の副幹事を務めあげた。美馬さんは当時のエピソードを懐かしそうに振り返る。

「学生時代はいろんな経験をさせてもらいました。同級生と一緒に近くの池に遊びに行つて素っ裸になって泳いだこともありましたが、国道沿いの屋台でよく酒を飲み交わしながら将来の話をしましたね」と話す美馬さんは、「そういういえば、文連の副幹事をしていたとき、体

育連合協議会と予算取りのことで対決したこ

とがありましたよ。あのときは剣道部や空手部、アメフト部の部員と面と向かつてぶつかり話し合いを繰り返しました。実は気が弱かったんで正直なところビビりましたが、予算取りで文連が負けるわけにはいかなかったため根性出しましたよ。でも体連の後輩連中がクラブハウスに乗っ込んできたときは焦りました(笑)」

### 「誠実な姿勢を大切にしよう」と心に決めて

大学卒業を目前にした美馬さんはアルバイト先の寿司屋の大将から「亀岡で2号店を開くんだが、やってみないか」と誘いを受けるも、両親から「せっかく大学に行ったのだから」と説得されれば反抗するほどの覚悟もなく、中堅ゼネコンのレジャー部門に入社。営業職に就いた美馬さんは毎日、個人宅の玄関先に立ち、レジャー施設会員権を売り込んだ。

「個人宅に訪問するので、怒鳴られてそのまま前払いは当たり前、入社1週間で当時の上司と口論になって、悔し涙も流しました。それでも、辞めたら両親が恥をかくと歯をくいしばり休日返上で言われるままに駆け回り、中央市場などにも飛び込みで営業をしました。時には長靴を履いて顧客の仕事を手伝ったりもしましたからね」

持ち前のバイタリティーと顧客に対する誠実な対応で徐々に業績を伸ばしていった美馬さん。入社4カ月後には新人賞、9カ月後には主任に抜擢されるなど順風満帆な社会人スタートを切ったかと思えた。

しかし、業績、業績で社員を駒のように扱う会社への不信感は次第に顕著なものとなり、32歳の時に食品卸会社からの誘いに転職を決意。その後、友人との会社立ち上げも経験。38



歳でついに独立することとなり経営者としての第一歩を踏み出した。

「起業当初は巨大メーカーに飛び込み営業をしても、もちろんのことながら大きな仕事をいただけるはずもなく苦労しました。でも」人を大切に「経営」を心に決めて必死で働きました。その気持ちは今も同じ。技術はもちろんです。が、社会人としての礼儀が最も必要。人間性を大切に社員教育にも力を入れています」

その言葉どおり、オフィスを訪ねると、社員全員が起立し「いらっしゃいませ」と礼儀正しく明るい声のあいさつで迎えてくれるGENECHは常に活気にあふれている。

「IT企業と聞くとスマートなもののように感じる方が多いかもしれませんが、実際は一人一人がスコップを持って、ひとつの穴を掘っていくような地道な業務なんです。その中で相手に真摯に向き合い、丁寧な仕事を繰り返してこまごまやってきました。この多くの人に支えられて築き上げた信頼関係のもと、これからは相手への敬意を忘れず進んでいきます」

### 学生生活に目標を持って生活してほしい

「今の若者からは個性を感じることができま

せん。学生にはオリジナリティーを持つてほしいですね。感情を表に出さずそこで鎧や仮面をかぶっているのは、相手の真の声は聞こえてきません。初めて見聞きすることには感動し、愉快なことにはおおらかに笑う。自分の素直な感情をこく自然に出すことが、相手の心をつかむことにつながり、そこに真の人間関係が築かれるのですから。

学生の皆さんには大学にいる目的を持ってもらいたいです。京都学園大学で何かを学びたいという目的意識を持っているのといないので絶対的に違う。卒業をゴールにするのではなく、その先の何かを目標にしてほしい」

最後に、美馬さんは母校に対する熱い思いを語ってくれた。

「学園大には起業に関して新しいアイデアを持った学生がいると思います。面白いアイデアがあれば大学発ベンチャーのような形で出資し、支援することも可能です。学生のアイデアによって母校が活性化するのであれば素晴らしいこと。これこそ産学連携じゃないでしょうか。」

また、今後、学生に向けて私たちのような経営者が話をする場があっても良いのではないのでしょうか。学生にとって刺激になることがあるかもしれませんが、同じ大学の卒業生の話なら身近に感じられますよ」

美馬芳彦 / 1954年京都府亀岡市生まれ。経済学部卒業。ゼネック代表取締役社長兼CEO。38歳で現在の「株式会社ゼネック」の前身である、「有限会社総合技研サービス」を起業。

株式会社 ゼネック  
京都市中京区烏丸通御池上ル 明治安田生命京都ビル3F  
URL <http://www.genech.co.jp>

「大学生生活を一緒に過ごした仲間とは今でも連絡を取り合ったりしますよ。あのころは楽しかった。後輩にはできることならスキー部を復活させてもらいたいですね。そういえば、最近は大映に足を運ぶことがなくなりました。新しい建物ができたりしているらしい」と

「大映通りに限らず商店街はどうしても勢いを失ってきています。なんとかその現状を打開したいと思って試行錯誤を繰り返しましたね。いろんな場所の町

「体育会系だったんで夏の練習は大学の裏にある山を駆け上がったりウエイトレトレーニングなんかをしたりと毎日厳しい練習でしたが、毎冬には長野なんかにスキー合宿に行つてワイワイと楽しませてもらいましたよ。そう言えば試験前にみんなで集まって勉強することもあったんですが、気がつくとスキーの話で盛り上がりつちやつて全然勉強してないなんて焦ったこともありましたが、現在は退官されているようですが、スキー部顧問の井上頼樹先生にはお世話になりました」

「今は商店街の周りに映画撮影所がある感じが、昭和30年代のころは映画の撮影所があつて、その中に商店街があるという印象が強かったです」と話す山本さんは、映画の街大映通り商店街を盛り上げるため始めたシネマフェスティバルでは、1950〜1960年代の京都撮影所関連のボスターを商店街の店頭飾り通りの雰囲気盛り上げたり、撮影所や地域の大学などと協力して昔ながらの町娘に扮した人が観光客を出迎えてみたりと商店街活性化に力を入れている。

「大映通りに限らず商店街はどうしても勢いを失ってきています。なんとかその現状を打開したいと思って試行錯誤を繰り返しましたね。いろんな場所の町

「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

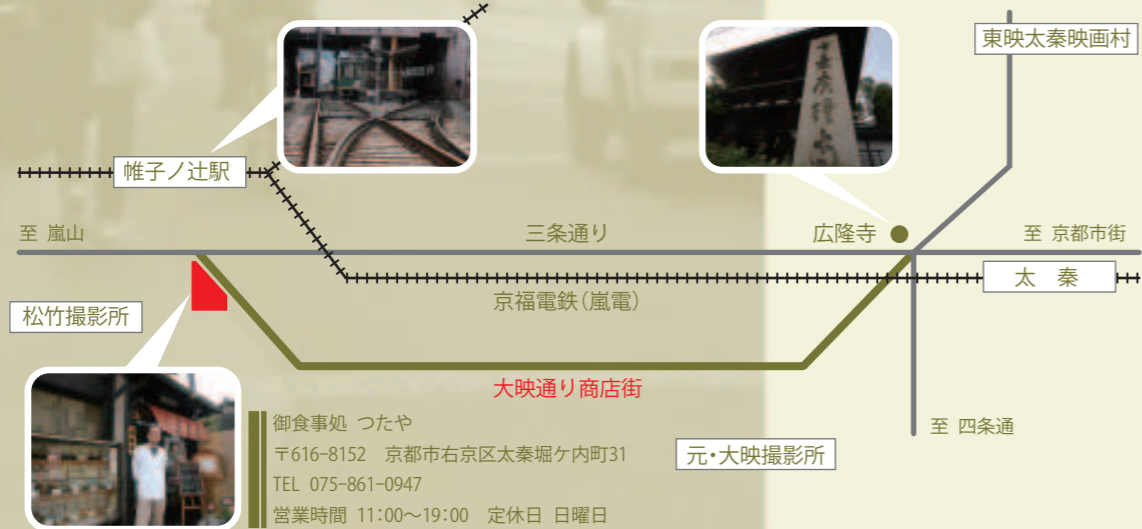
「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

## 大映通り商店街

戦後、三条通りのバイパス通りとして、嵐電の太秦駅と帷子ノ辻の間に位置する生活道路で、毎月・5日・15日・26日には夜店が出店し夜店通りという名前がついていたが、市場、スーパー、銀行と次々に出店する事により商店街としての格式が出来てきた。



# 日常と映画の交差点にいぎづく 「大映通り商店街」と共に

写真 松尾 淳史  
本文 鈴木 創介

日本映画の栄枯盛衰と共に、戦前・戦後の日本映画を支えてきた京都。中でも南に大映、西に松竹、北には東映と3つの撮影所に囲まれ、映画隆盛とともに発展してきた「大映通り商店街」。着飾ることのないその下町の商店街には、人びとの生活がいぎづく、日常の時間が流れる。ただひとつ違うのは映画文化とともに暮らし、映画をこよなく愛する住人たちが数多くいること。そんな大映通り商店街で「御食事処 つたや」を経営する山本明彦さん(52)昭和51年度経済学部卒業も映画と共に成長し、映画をこよなく愛する商店街の住人のひとりだ。



### 映画の故郷で映画とともに

「私が子どもの頃にはこの商店街をちょんまげ頭の役者さんたちが歩いていたもんですよ。私たちが撮影所に入つてこっそり遊んでいましたからね。だから映画は昔から特別なものじゃなくて、ごく当たり前にあつたものなんです。そう言いながら笑顔を見せるのは私たちの同窓生、山本明彦さん。同商店街で祖父の代から3代続く食堂「御食事処 つたや」には映画監督の山田洋次さんや俳優の田中邦衛さんなどキラ星のごとく輝く映画人が足繁く通い映画談義を繰り返す。

### 生活の中心は「スキー」でした

そんな、山本さんの大学時代の思い出と言えはなんと「スキー」。幼少の頃から父親の影響でスキーに慣れ親しんだ山本さんは大学入学と同時に友人とスキー

部を立ち上げた。

「大映通り商店街の振興組合副理事長も務める山本さんは自らの店だけでなく、映画と共に発展してきた大映通り商店街の活性化にも一役買っている。

### 映画で大映通りの活性化を

「今は商店街の周りに映画撮影所がある感じが、昭和30年代のころは映画の撮影所があつて、その中に商店街があるという印象が強かったです」と話す山本さんは、映画の街大映通り商店街を盛り上げるため始めたシネマフェスティバルでは、1950〜1960年代の京都撮影所関連のボスターを商店街の店頭飾り通りの雰囲気盛り上げたり、撮影所や地域の大学などと協力して昔ながらの町娘に扮した人が観光客を出迎えてみたりと商店街活性化に力を入れている。

「大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。



# 待ちわびた新体育館、ついに竣工しました。

写真／本文：鈴木創介



みなさんご存知の通り、母校・京都学園大学の体育館は開校と同時に昭和44年に建設されたものです。当時は経済学部のみで単科大学で全学生数を300人と小規模で開学したものの、時代の交差の中で、現在は5学部、総勢4000人と文字通り総合大学へと発展しています。

その中で既存の体育館では授業をはじめクラブ活動などでも手狭な状況が続くと同時に、近年は老朽化も激しく、大宇式卒業式などの行事利用にも不便で、新体育館の建設は悲願でした。

新体育館は昨年4月から着工し、今年1月に竣工となりました。今回建設された新体育館は延床面積5000㎡と大規模で、悠心館やパイオ環境館と調和したデザイン、大宇行事や各種イベントにも対応できる多目的利用の可能な体育館で1階

放りていく予定となっています。現役生のみならずには最新機器の揃った新体育館を最大限活用していただけて多くの経験を積んでもらいたいものです。

KUGU 2月には、野球場の改修工事が完了し、人工芝で夜間練習用照明の取り付けられた真新しいグラウンドがお目見えしました。



● New Arrival — 念願の神宮大会出場に向けて  
「みなさんの期待を無駄にしないよう  
部員全員一丸となって練習に励みたい」

これは京都学園大学父母の会が学内施設の充実のため寄付したもので、外野グラウンドすべてに人工芝が張られ、一塁側と三塁側には大型のナイター設備が増設されました。

披露式典では波多野学長から父母の会へ感謝状が授与され、長田光彦父母の会前会長は「改修工事に父母の会が貢献できたことは大変嬉しい

ことです。学生諸君におかれましては、装いも新たななった野球場で大いに力を発揮してほしい」と更なる飛躍を願い、硬式野球部の深井賢太郎主将は「素晴らしい設備を提供していただき感謝しています。この期待を無駄にすることなく選手一丸となって練習に励み、みなさんに恩返ししたいです」と強い決意を見せてくれました。

のメインアリーナはバレーボールの公式試合に対応可能なように天井高12.5m、照度1000ルクスを確保されています。また、式典などでの利用も考慮し2階観覧席には260人が収容可能な椅子を設置し、ステージの両翼には150インチのスクリーンを配置、式典などの模様を同時中継することも可能です。2階武道場は剣道場と柔道場の複合型のもので、ほかに学生用ラウンジや研究室、講義室、ロッカールーム、シャワールームなど充実の設備が整っています。

記念の竣工式では、まず体育館の幕開けを告げるテープカットが行われ、辻本一彦理事長、波多野進学長、並河忠夫事務局長のお三方によって開館を宣言。辻本一彦理事長が「このような素晴らしい施設の建設にご協力いただきありがとうございます

式典のあとはいよいよ各クラブが体育館のこけら落とし。真新しい匂いのする武道場では剣道部、柔道部、空手部、少林寺拳法部が威勢良く稽古を開始。部員の皆さんは「様に満足した表情で初稽古に動んでいました。またメインアリーナではバスケットボール部、体操部、バドミントン部が初練習。ピカピカに光るフロアを動き回り感触を確かめていました。

新体育館は今後、体育の授業やクラブ活動で使用されるだけでなく、市民や各種イベントにも開



バスケットコートが2面取れる大型のフロアとバレーボールの公式戦も可能な高い天井は壮観！学生ラウンジは自然光の暖かな光でゆったりとできるスペースです。

# 産学官(公)連携窓口 リエゾンセンター設立

What's Liaison Center? リエゾンセンターとは  
産官学連携のながれ  
イラスト: 横山いずみ(旧姓:有吉)  
1980年経済学部卒業

## リエゾンセンター概要

**技術相談**  
食品・醸造業、農業、林業、化学工業、廃棄物処理、環境保全、環境改善等に係わる技術・経営等についての相談受付、橋渡し等

**研究開発**  
受託研究、共同研究の受け入れ、産学官の問題解決のためのコンソーシアム形成、競争的資金獲得のためのプロジェクト構築等

**高大連携**  
入試業務とは直接には関わらない高校生、中学生のための理科教育、社会教育等に対する協力

京都学園大学の持つ教育研究機能を産官学および地域との連携を通じて、一層拡充・発展させることを目的に、本学にリエゾンセンターを設置しました。

同センターは、本学の所有している総合大学としての知的財産(経済学部・経営学部・法学部の社会科学分野、人間文化学部の人文科学分野、バイオ環境学部の自然科学分野)を有効に活用し、地域社会や企業として各公共団体との連携をとって社会に貢献していきたいと考えています。

社会との連携には学生諸君が欠かせない存在であり、学生時代から積極的に社会とふれあうことで、より実践的な研究活動に取り組むことが可能になると考えています。



リエゾンセンター事務長  
石原 祐次 Yuji ISHIHARA  
1980年経済学部卒業

産学官(公)連携、高大連携等の窓口となり、大学内外の橋渡しをいたします

大学が持つ知識、技術などの知的資源を社会に提供し連携することにより、社会の発展と大学における教育と研究に資することを目的としております。

近年このような大学の機能は、各大学で活発に展開されており、本学もバイオ環境学部の設置にともない、既存の経済学部・経営学部・法学部・人間文化学部の知能をも合わせてリエゾン活動を展開します。農業等の一次産業、バイオテクノロジーを含む二次産業及び地域環境をはじめとする環境保全、環境改善等における技術開発、経営展開さらには三次産業のサポート、起業相談などのお手伝いをいたします。

また、中等教育の深化のための出張講義体験入学についても積極的に取り組んで参ります。産業界、自治体、市民団体、高校等の皆様がお気軽にご利用いただくことをお待ちしております。



**1st Step**  
ご相談窓口へご連絡ください  
企業のご担当者からリエゾンセンターに研究概要について、連絡と相談をお寄せください。



**2nd Step**  
センターによる事前打ち合わせ  
リエゾンセンターは、ご要望にお応えすべく、相談内容に関し事前打ち合せをして、研究者をコーディネートいたします。



**3rd Step**  
担当者と打ち合わせ、相談会の実施  
企業様の相談内容に対応できる研究者を紹介し、数回の相談会を実施します。(開発目標、研究スケジュール、研究内容、経費等)



**6th Step**  
研究結果のご報告  
本学より企業様への研究結果のご報告のうえ特許申請・学会発表など。



**5th Step**  
研究の開始  
研究開始。適宜、ミーティングを行い進行状況など連絡を取り合います。



**4th Step**  
研究契約の締結  
相談の結果、具体的な大学への研究依頼に至った場合は、大学との研究契約締結。(受託研究・共同研究・奨学寄付金等)のときめ

## 「同窓会入試」同窓生の家族が対象の入試です

かねてより同窓会との連携を強化する一環として、大学内で審議を重ねてまいりました「京都学園大学同窓会入試制度」は2005年度からスタートし、今年度も同様に実施いたします。これは、本学の教育目的に賛同する卒業生または在学生の家族で、本学を第一志望とする受験生を対象に、模擬授業と面接・事前レポートで判定する入試制度です。授業料から入学金相当額が免除になりますので、ぜひご利用いただけますようお願い申し上げます。なお、この制度は人間文化学部の前身である京都文化短期大学同窓会も含めます。入試要項・願書を希望される場合は本学入試課までにお申し出ください。

## 来年度の入試にお力添えをお願いします

また、2008年度の入試日程が下記のとおり決定しました。お子様はもちろん、お知り合いの方々にも、ぜひ受験をすすめていただきますようお願い申し上げます。なお、大学案内および入学願書は無料で差し上げますので、ご希望の方は本学入試課までにお申し出ください。

### 2008年度 同窓会入試概要

試験日	9月30日(日)
募集人数	経済学部・経営学部・法学部・人間文化学部・バイオ環境学部の各学科で若干名
出願資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高等学校もしくは中等教育学校を平成20年3月卒業見込みの者</li> <li>■ 通常過程による12年の学校教育を平成20年3月修了見込みの者</li> <li>■ 上記のいずれかに該当した上で、受験生の「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」のいずれかが、京都学園大学あるいは京都文化短期大学を卒業した者、または京都学園大学に在学中の者</li> <li>■ バイオ環境学部は、調査書の平均点が3.5以上であること</li> <li>■ 専願であること</li> </ul>
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 志望学部・学科の模擬授業(レポート作成含む)</li> <li>■ 面接</li> <li>■ 事前レポート</li> </ul>
減免措置	初年度の春学期授業料から入学金相当を免除する

### 2008年度入試日程(人間文化学部 心理学科/メディア社会学科/歴史民俗/日本語日本文学学科は2008年4月開設予定)

制度	選考区分	学部	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日(1次)	入学手続締切日(2次)	試験地	京大	東大	名大	金大	岡大	高松	福岡	
AO入試	前期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	エントリー、 模擬授業、面接	一次エントリー:6/24(日)~8/26(日) 二次エントリー:7/30(月)~8/31(金)	9/9(日)	9/29(土)	10/5(金)	12/21(金)	本学	○							
	後期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	エントリー、 模擬授業、面接	一次エントリー:6/24(日)~9/15(土) 二次エントリー:7/30(月)~9/21(金)	9/30(日)	10/20(土)	10/26(土)	12/21(金)	本学	○							
特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	特	
公募推薦入試	A方式	経済学部	英・国・数・地歴より 1教科1科目+評定平均値×10	10/9(火)~10/25(木) ※本学へ持参の場合、 10/26(金)・27(土)受付可	11/3(祝)	11/10(土)	11/22(木)	12/21(金)	本学・地方	○		○	○	○	○	○	
		経営学部	英・国・数・地歴より 1教科1科目+評定平均値×10		11/4(日)												
		人間文化学部	英・国・数・地歴より 1教科1科目+評定平均値×10		11/3(祝)												
	B方式	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	面接+評定平均値×10 面接+志願理由書 (※面接当日持参のべ)	11/19(月)~12/6(木) ※本学へ持参の場合、 12/7(金)・8(土)受付可	12/15(土)	12/22(土)	1/11(金)	1/18(金)	※本学・地方	○							
一般入試	前期 [A日程]	経済学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目	1/7(月)~1/16(水) ※本学へ持参の場合、 1/17(木)・1/18(金)受付可	1/24(木)				本学・地方	○		○	○	○	○	○	
		経営学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目		1/25(金)												
		人間文化学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目		1/26(土)	2/2(土)	2/15(金)	2/29(金)	本学・地方	○		○	○	○	○	○	
	バイオ環境学部	英・数・理より 2教科2科目		1/24(木)													
	前期 [B日程]	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目	1/21(月)~1/31(木) ※本学へ持参の場合、 2/1(金)・2(土)受付可	2/9(土)	2/16(土)	2/22(金)	3/7(金)	本学・地方	○		○	○	○	○	○	
	後期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目	2/25(月)~3/10(月) ※本学へ持参の場合、 3/11(火)・12(水)受付可	3/18(火)	3/24(月)	3/27(木)	3/27(木)	本学・地方	○		○	○	○	○	○	
センター利用入試	前期 [A日程]	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	高得点2教科2科目	1/7(月)~1/18(金)	本学の個別試験等なし	2/16(土)	2/22(金)	2/29(金)	全国の大学入試センター試験会場								
	前期 [B日程]	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	高得点2教科2科目	1/21(月)~2/2(土) ※本学へ持参の場合、 2/4(月)受付可	本学の個別試験等なし	2/16(土)	2/22(金)	3/7(金)									
	後期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	高得点3教科3科目	2/12(火)~2/29(金) ※本学へ持参の場合、 3/1(土)・3(月)受付可	本学の個別試験等なし	3/15(土)	3/21(金)	3/27(木)									
	同窓会入試	全学部	模擬授業、面接、 事前レポート	9/10(月)~9/21(金)	9/30(日)	10/6(土)	10/12(金)	12/21(木)		本学	○						

※上記の持参受付時間(平日)9:00~17:00 (土曜)9:00~12:00

※公募推薦入試B方式:経済学部・経営学部・法学部・人間文化学部は本学会場のみ

平成18年度  
京都学園大学

同窓会  
決算書

《一般会計》 (単位 円)

科目	決算額
前年度繰越金	3,683,232
会費	23,050,000
雑収入	9,204
収入の部合計	26,742,436

科目	決算額
事務費	2,078,700
人件費	120,000
事務補助費	1,958,700
会議費	973,253
会議費	407,273
交通費	565,980
事業費	15,786,860
会報発行費	4,827,254
名簿管理費	109,360
総会費	1,488,916
助成費	7,355,725
支部運営費	953,593
奨学費	960,000
慶弔費	92,012
積立金	5,000,000
基金積立金	0
事業積立金	5,000,000
予備費	0
翌年度繰越金	2,903,623
支出の部合計	26,742,436

人事告示板・退職のお知らせ

専門/発達心理学

真剣に学び各自の課題に取り組み学生諸君を援助する七年間の仕事は、やり甲斐がありました。

小嶋 秀夫 教授  
(人間文化学部人間関係学科)

専門/教職課程科目

教職課程指導室五年間勤めさせていただきました。その間関わった学生の多くが単に免許取得だけでなく、教職を目標とするようになり大変喜んでいました。

三替 宏孝 教授  
(経済学部経済学科)

生課・情報センター・国際交流センター・図書館事務室

一九九七年から二〇〇七年まで十年間の在職中、時々配属課に於いて「龍尾キャノンパス」学生編集委員、学生会役員、情報センターTAや外国人留学生、交換留学生、語学研修生、図書影生スタッフなど、多くの同窓生諸君との交流ができました。ありがとうございました。

大橋 勝司 教授  
(事務局職員)

総務課・学生課・教務課・図書館事務室

学園大学ジブシーの生活も無事終了。現在は箱入り娘ならず箱入り妻さんの日々を楽しんでいます。感謝感謝！

山内 タカ子 教授  
(事務局職員)

その他の退職者

- 教員  
井形 浩治 坂本 直樹 福井 義一 スティーブン・リッチモンド
- 職員  
谷口昌也 宮原 敏英 川田 治義 村松 留衣

就職への企業紹介のお願い

皆様もご存知のとおり、昨今の新規卒者の就職状況は学生の二分化が進むなか、厳正採用を強いられて以前にもまして厳しいものであります。つきましては、皆様様が在籍されておられます企業において新卒採用の求人等がございましたら、ご一報いただきたく申し上げる次第でございます。是非とも、後輩の一助となるようご協力をお願いいたします。なお、求人に関するお問合せ・ご質問等につきましては、下記の連絡先までお願い申し上げます。

京都学園大学キャリアサポートセンター  
TEL:0771(29)2260 FAX:0771(29)2269  
E-mail:career@kyotogakuen.ac.jp

お便り・同窓会への情報お待ちしております

近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構です。お気軽に同窓会事務局へご連絡ください。  
京都学園大学同窓会事務局 URL <http://www.gakuendai.com/>  
TEL:0771-22-2001(代) FAX:0771-29-2389  
E-mail:dousoukai@gakuendai.com

入試に関するお問い合わせは、

京都学園大学入試課 URL <http://www.kyotogakuen.ac.jp>  
〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1  
TEL.0771-29-2222(入試課直通)  
入試情報テレホンサービス 10771-24-8686  
E-mail:nyushi@kyotogakuen.ac.jp

大学での活動は、生活の糧に。あの時間を忘れず精進しよう！



みなさんのお手元にも届く「CHEER!!」の制作・編集作業にも協力させていただいています。今後もイキイキとした同窓生の表情をお伝えできればと思っています。

次は、皆越 茜さん  
(平成14年人文学部卒業)を紹介します

卒業して3年になりますが、在学中はレクリエーション研究会に所属し、大学のみならず亀岡や近隣地域でイベントを企画・運営したことを懐かしく思います。また、亀岡市との官学共同事業を実現できたことが今も人生の糧として、また素晴らしい思い出として鮮明に記憶しています。



鈴木 創介  
平成15年卒業  
人間文化学部文コミ学科

大学の変容ぶりにびっくり。自分を省みるよききっかけに。



写真は次回紹介を予定している吉野君と一緒にいるものです。彼は同じ会社にいる仲間であり、また私の直属の優秀なスタッフです。

次は、吉野 隆文さん  
(平成3年経済学部卒業)を紹介します

私は現在IT会社の役員として日々奮闘しております。少し前のことですが、またま仕事の関係で大学に寄る機会がありました。

全く想像できないくらい多くの施設が立ち並び、その変容ぶりに驚くばかりでした。この辺に食堂があったなあなど、当時のことが走馬灯のように思い起こされておりました。また当時と現在の自分を比べている私があり、家族のことや仕事のことなど、いろいろと出会いについて考えさせられました。当時のことを省みる機会をいただいた旧友には感謝しています。



上田 哲也  
昭和58年卒業  
経済学部経営学科

大学時代の友人たちに刺激された。切磋琢磨できる仲間へ感謝。



大学時代の懐かしの我が家です。3人でこの蒸し暑い部屋で飲み明かし、語り合った日々が今は遠く懐かしく感じられます。

次は、長田 隆さん  
(平成7年法学部卒業)を紹介します

私もそんな私の消極的な心を動かしたのは大学時代の友人兼ライバルである2人、高木康裕・長田隆の存在である。彼らには卒業後、この12年間でかなり差をつけられてしまったが、この先も彼らからよい刺激を受けつつ、もう一度大学時代の原点に戻り切磋琢磨していきたい。



杉本 学  
平成7年卒業  
法学部法学科

卒業生リレーエッセー

昭和48年に第1期生が卒業して以来30年、各界で多くの同窓生が活躍している。全国各地で離れ離れに暮らしていても、その原点はもろろん京都学園大学。忘れられない学園生活の思い出や現在の心境をリレー形式で綴ってもらおう。

卒業生名簿の登録項目に変更はありませんか？

日本全国で市町村合併が行われましたが、皆様のお住まいの住所等変更ありましたでしょうか？ 同窓会事務局では、市町村合併に伴う住所変更手続き等を行っておりますが、毎回数百部のCHEER!!が返送されてきています。

配送する郵便局ごとに違うのですが、中には旧住所表記では合併後2、3年で届けてもらえない場合が多々あります。住所等に変更がありましたら、省略せず正しい住所表記で変更届けをお願いいたします。

京都学園大学同窓会事務局 URL <http://www.gakuendai.com/>  
TEL:0771-22-2001(代) FAX:0771-29-2389  
E-mail:dousoukai@gakuendai.com

ホームカミングデー・同窓会総会のお知らせ

**ホームカミングデー**  
日時:平成19年10月26日(金)~28日(日)  
(本年の第39回龍尾祭は10月26日~10月28日までの日程で開催されます)  
場所:京都学園大学 光風館前テント  
(模擬店の金券なども用意しています。金券等は各日ごとに数に限りがあります。先着順に配布させていただきます。)

**同窓会総会**  
日時:平成19年10月28日(日)  
場所:京都学園大学光風館会議室  
議題 ①前年度事業報告 ②前年度決算報告  
③今年度事業計画案 ④今年度予算案 ⑤その他

# CHEER!!

No.20

チア→>>>CHEER

応援すること・喝采すること・激励すること  
元気がよいこと・気分がよいこと・おいしいこと



それぞれの卒業後を追う  
株式会社ゼネック  
代表取締役社長兼CEO／美馬芳彦さん

エリア探訪  
「大映通り商店街」と共に／山本明彦さん

同窓会の広場  
同窓会中国支部結成直前準備会  
同窓会滋賀県支部交流研修会

ニュースリリース  
待ちわびた新体育館ついに竣工  
産官学連携の窓口・リエゾンセンター開設  
同窓会入試／入試情報

卒業生リレーエッセイ  
鈴木 創介／植田 哲也／杉本 学

ガンバルヒト・強化クラブ編  
硬式野球部・サッカー部対談



今、大学スポーツが熱い！野球ではハンカチ王子こと斎藤佑樹投手の人気、サッカーでは現役大学生が日本A代表に選出されるなど大きな盛り上がりを見せる。私たちの母校も負けず劣らずの活躍で学園旋風を巻き起こしている。今回は強化クラブに指定され、活躍を見せる硬式野球部主将・深井賢太郎さんとサッカー部副主将・相沢竜二くん（以下、

だから結果を出さないといけないですね。**サッカー部副主将・相沢竜二くん**（以下、相沢） そうそう期待されているのは感じます。実績のある監督・コーチに指導してもらっていますし、高校などで実績のある選手が入部してくることも聞いています。選手自身も試合に出場できるかどうか危機感を持ちますし、チーム内の競争力やモチベーションもあがりやすい。チームの総合力があがっていくのはとても良いこと、強化クラブに指定してもらったのは先輩がたが積み上げてくれた実績のおかげなので感謝しながらプレーしています。  
**深井** プレー以外でも学生生活でしっかりしないといけないって気になりましたよね。みんな強化クラブの野球部サッカー部なんだなって見えますし、それで中途半端なことしたら「あいつらダメやん」と思われますしね。学生の模範になれるようにしないとダメですね。  
**相沢** 僕たちは現在、関西の2部リーグ

## 強化指定クラブを直撃!! 硬式野球部×サッカー部

強化クラブとは…京都学園大学では、クラブ活動の活性化に、より効果的な援助をにおこなうため、硬式野球部およびサッカー部を強化クラブとして指定しました。硬式野球部は、現在、プロ野球で優秀投手に贈られる「沢村栄治賞」（通称「沢村賞」）で知られる故沢村栄治投手ゆかりの学園として、サッカー部は、プロリーグ及び国際大会で社会の関心が高く、青少年の育成に貢献できる競技として指定しました。

に所属しているのですが、2部Aブロックで5位となり目標の2部残留は達成できませんでした。格上の同志社大学戦でも負けはしましたが、全員でしっかりと連携し守ることができ、選手のみならずこのリーグでプレーする自信がついたんじゃないでしょうか。  
**2人はチームをまとめる立場だと思いますが、常に選手に伝えていることはありますか？**  
**相沢** 僕は自分がチームをまとめるってタイプじゃないので、下級生と上級生、監督・コーチと選手のパイプ役になっていきます。その中で声を出して盛り上げる、って感じでしょうか。  
**深井** 卒業された先輩から学んだんですが、チームの責任は主将である僕の責任。選手のみならずはやる気の出ないとき、如何にして全力に近いプレーをするか、その大切さを伝えてきました。

**今後の目標は？**  
**相沢** 秋季リーグでは強豪の大学と対戦する可能性が高いです。その中でも自分たちのプレーを忘れず上位に食い込めればと思っています。そして近い将来、1部リーグで活躍できれば嬉しいですね。精一杯頑張りますよ。  
**深井** 僕は4回生なので引退します。後輩のみんなには絶対佛教大学を破り神宮大  
**先輩の同窓生へメッセージ**  
**相沢** 京都学園の名前を汚さないよう全力でプレーしています。これからのリーグ戦も全力を尽くしてみなさんに良いニュースを届けたいと思っています。ぜひ会場に来ていただいて応援してください！  
**深井** 大学からの支援には本当に感謝しています。恩返しのためにも全国大会へ出場して大学の名前を全国へ轟かせます。卒業生のみならずも球場へ足を運んでいただき、後輩たちの活躍を見てやってください。  
**深井賢太郎くん**（4回生）／硬式野球部主将／東山高校出身  
**相沢竜二くん**（3回生）／サッカー部副主将／洛北高校出身





ビジネス

それは真摯な姿勢

それは発想の具現化

そして、それは相手への敬意。

# 美馬 芳彦

Yoshihiko MIMA

本文 鈴木 創介

パートナーと呼ばれる企業を目指し

「ビジネスの基本は相手に対する敬意です。礼儀を尽くすことでそこに新たなビジネスチャンスが生まれます。たとえば『挨拶』。これは人の知恵が生み出した最も基本的なコミュニケーション手段。あなたに敬意を持っていませんよ。仲良くしてください」というメッセージがこめられた大切なシグナルです。たとえば、『ビジネススーツ』。これはあなたに敬意を表します。というビジュアル的メッセージ。実は敬意のベースにあるのは単なる人への思いやりなんです。たとえば、その人がクライアントでも、上司でも、後輩でも家族でも。誰に対しても同じこと。大人として、プロとして忘れてはならない『自律神経』だと考えています」

昭和54年経済学部卒業の美馬芳彦さんは、企業や行政などのシステム開発におけるコンサルティングを基本としたトータル・ソリューションの提供をする「株式会社GENECH（ゼネック）」(本社・京都市)の代表取締役社長兼CEOを務める53歳。膨大に膨らみ続ける情報量や進化するテクノロジーが企業だけでなく街や家庭にまで浸透し、文字通りのユビキタス社会が到来した今、美馬さんはパートナーとなる企業の成長につながる成果を得るべく、日夜努力を欠かさない熱血経営者だ。

「私たちの仕事は、製品や商品と違ってカチの無いもの。だから『どうぞこれを買ってください』と言うことはできません。とすれば、どうやってビジネスを成り立たせていくのか。答えは信頼関係しかありません。それは情報収集できる『アンテナ』、企画提案できる『アタマ』、目標を実現する『スキル』、お客様の最善を考える『ココロ』が成すもの。そして安売りや煽りではなく、確実な知識と実力を以て胸を張って進む。その先には『パートナー・カンパニー』という何ものにも変えがたい評価が待っているはずです」

起業のきっかけは大学時代のアルバイト

美馬さんが京都学園大学に入学した理由は地元・亀岡にある大学だから。高校生のころの寿司屋でのアルバイト経験から、漠然とながら将来は自分で店を持つのも良いかもしれないと考えていた美馬さんは、大学入学後も亀岡に暖簾(のれん)を構える寿司屋で毎日深夜まで働いた。

「大学時代に一生懸命になった寿司屋でのアルバイトが今のビジネスに対する理念の根底になっています。常に自信を持たせてくれる大将のお陰で小中高と大人しかったのが嘘のように快活になり、掛け合い漫才のような接客が喜ばれ充実した日々が送れたことに感

全てのクライアントに  
「右腕」と呼ばれるために。

謝していますし、笑顔で朝から晩まで働き、あつという間に店舗を拡張して豊かに暮らす大将に憧れましたよ。厳しく接しながらも何くれとなく面倒を見て、若手を育て上げる「職人」の世界がすごく好きでしたしね」

大学生活では、ウィークリーコンサート部に入学するとともに、学友会・文化連合協議会

の副幹事を務めあげた。美馬さんは当時のエピソードを懐かしそうに振り返る。

「学生時代はいろんな経験をさせてもらいました。同級生と一緒に近くの池に遊びに行つて素っ裸になって泳いだこともありましたが、国道沿いの屋台でよく酒を飲み交わしながら将来の話をしましたね」と話す美馬さんは、「そういういえば、文連の副幹事をしていたとき、体

育連合協議会と予算取りのことで対決したことがありましたよ。あのときは剣道部や空手部、アメフト部の部員と面と向かつてぶつかり話し合いを繰り返しました。実は気が弱かったんで正直なところビビりましたが、予算取りで文連が負けるわけにはいかなかったため根性出しましたよ。でも体連の後輩連中がクラブハウスに乗っ込んできたときは焦りました(笑)」

育連合協議会と予算取りのことで対決したことがありましたよ。あのときは剣道部や空手部、アメフト部の部員と面と向かつてぶつかり話し合いを繰り返しました。実は気が弱かったんで正直なところビビりましたが、予算取りで文連が負けるわけにはいかなかったため根性出しましたよ。でも体連の後輩連中がクラブハウスに乗っ込んできたときは焦りました(笑)」

### 「誠実な姿勢を大切にしよう」と心に決めて

大学卒業を目前にした美馬さんはアルバイト先の寿司屋の大将から「亀岡で2号店を開くんだが、やってみないか」と誘いを受けるも、両親から「せっかく大学に行ったのだから」と説得されれば反抗するほどの覚悟もなく、中堅ゼネコンのレジャー部門に入社。営業職に就いた美馬さんは毎日、個人宅の玄関先に立ち、レジャー施設会員権を売り込んだ。

「個人宅に訪問するので、怒鳴られてそのまま前払いは当たり前、入社1週間で当時の上司と口論になって、悔し涙も流しました。それでも、辞めたら両親が恥をかくと歯をくいしばり休日返上で言われるままに駆け回り、中央市場などにも飛び込みで営業をしました。時には長靴を履いて顧客の仕事を手伝ったりもしましたからね」

持ち前のバイタリティーと顧客に対する誠実な対応で徐々に業績を伸ばしていった美馬さん。入社4カ月後には新人賞、9カ月後には主任に抜擢されるなど順風満帆な社会人スタートを切ったかに思えた。

しかし、業績、業績で社員を駒のように扱う会社への不信感は次第に顕著なものとなり、32歳の時に食品卸会社からの誘いに転職を決意。その後、友人との会社立ち上げも経験。38

### 卒業生のその後を追う

#### ● Interview — 卒業生のその後を追う

## 「学生の皆さんには大学にいる 目的意識を持ってほしい」

歳でついに独立することとなり経営者としての第一歩を踏み出した。

「起業当初は巨大メーカーに飛び込み営業をしても、もちろんのことながら大きな仕事をいただけるはずもなく苦勞しました。でも」人を大切に「経営」を心に決めて必死で働きました。その気持ちは今も同じ。技術はもちろんです。が、社会人としての礼儀が最も必要。人間性を大切に社員教育にも力を入れています」

その言葉どおり、オフィスを訪ねると、社員全員が起立し「いらっしゃいませ」と礼儀正しく明るい声のあいさつで迎えてくれるGENECHは常に活気にあふれている。

「IT企業と聞くとスマートなもののように感じる方が多いかもしれませんが、実際は一人一人がスコップを持って、ひとつの穴を掘っていくような地道な業務なんです。その中で相手に真摯に向き合い、丁寧な仕事を繰り返してこまごまやってきました。この多くの人に支えられて築き上げた信頼関係のもと、これからは相手への敬意を忘れず進んでいきます」

### 学生生活に目標を持って生活してほしい

「今の若者からは個性を感じることができま

せん。学生にはオリジナリティーを持つてほしいですね。感情を表に出さずそこで鎧や仮面をかぶっているのは、相手の真の声は聞こえてきません。初めて見聞きすることには感動し、愉快なことにはおおらかに笑う。自分の素直な感情をこく自然に出すことが、相手の心をつかむことにつながり、そこに真の人間関係が築かれるのですから。

学生の皆さんには大学にいる目的を持ってもらいたいです。京都学園大学で何かを学びたいという目的意識を持っているのといないので絶対的に違う。卒業をゴールにするのではなく、その先の何かを目標にしてほしい」

最後に、美馬さんは母校に対する熱い思いを語ってくれた。

「学園大には起業に関して新しいアイデアを持った学生がいると思います。面白いアイデアがあれば大学発ベンチャーのような形で出資し、支援することも可能です。学生のアイデアによって母校が活性化するのであれば素晴らしいこと。これこそ産学連携じゃないでしょうか。」

また、今後、学生に向けて私たちのような経営者が話をする場があっても良いのではないのでしょうか。学生にとって刺激になることがあるかもしれませんし、同じ大学の卒業生の話なら身近に感じられますよ」



美馬芳彦 / 1954年京都府亀岡市生まれ。経済学部卒業。ゼネック代表取締役社長兼CEO。38歳で現在の「株式会社ゼネック」の前身である、「有限会社総合技研サービス」を起業。

株式会社 ゼネック  
京都市中京区烏丸通御池上ル 明治安田生命京都ビル3F  
URL <http://www.genech.co.jp>

「大学生生活を一緒に過ごした仲間とは今でも連絡を取り合ったりしますよ。あのころは楽しかった。後輩にはできないことならスキー部を復活させてもらいたいですね。そういえば、最近は大映通りを遊ぶことがなくなりました。新しい建物ができたりしているいろ

「大映通りに限らず商店街はどうしても勢いを失ってきています。なんとかその現状を打開したいと思って試行錯誤を繰り返しましたね。いろんな場所の町

部を立ち上げた。  
「体育会系だったんで夏の練習は大学の裏にある山を駆け上がったりウエイトレトレーニングなんかをしたりと毎日厳しい練習でしたが、毎冬には長野なんかにスキー合宿に行つてワイワイと楽しませてもらいましたよ。そう言えば試験前にみんなで集まって勉強することもあったんですが、気がつくとスキーの話で盛り上がりつちやつて全然勉強してないなんて焦ったこともありましたが、現在は退官されているようですが、スキー部顧問の井上頼樹先生にはお世話になりました」  
大学卒業後は、後輩が活躍するスキー部のコーチングや合宿の世話など長年母校との交流があったが、数年前に京都学園大学スキー部が活動をしなくなったことで大学との関わりがなくなったことに一抹の寂しさも見える。

「今は商店街の周りに映画撮影所がある感じが、昭和30年代のころは映画の撮影所があつて、その中に商店街があるという印象が強かったです」と話す山本さんは、映画の街大映通り商店街を盛り上げるため始めたシネマフェスティバルでは、1950〜1960年代の京都撮影所関連のボスターを商店街の店頭飾り通りの雰囲気盛り上げたり、撮影所や地域の大学などと協力して昔ながらの町娘に扮した人が観光客を出迎えてみたりと商店街活性化に力を入れている。

「大映通りに限らず商店街はどうしても勢いを失ってきています。なんとかその現状を打開したいと思って試行錯誤を繰り返しましたね。いろんな場所の町

## 大映通り商店街

戦後、三条通りのバイパス通りとして、嵐電の太秦駅と帷子ノ辻の間に位置する生活道路で、毎月・5日・15日・26日には夜店が出店し夜店通りという名前がついていたが、市場、スーパー、銀行と次々に出店する事により商店街としての格式が出来てきた。



# 日常と映画の交差点にいぎづく 「大映通り商店街」と共に

写真 松尾 淳史  
本文 鈴木 創介

日本映画の栄枯盛衰と共に、戦前・戦後の日本映画を支えてきた京都。中でも南に大映、西に松竹、北には東映と3つの撮影所に囲まれ、映画隆盛とともに発展してきた「大映通り商店街」。着飾ることのないその下町の商店街には、人びとの生活がいぎづく、日常の時間が流れる。ただひとつ違うのは映画文化とともに暮らし、映画をこよなく愛する住人たちが数多くいること。そんな大映通り商店街で「御食事処 つたや」を経営する山本明彦さん(52)昭和51年度経済学部卒業も映画と共に成長し、映画をこよなく愛する商店街の住人のひとりだ。



### 映画の故郷で映画とともに

「私が子どもの頃にはこの商店街をちょんまげ頭の役者さんたちが歩いていたんです。私も撮影所に入つてこっそり遊んでいましたからね。だから映画は昔から特別なものじゃなくて、ごく当たり前にあつたものなんです。そう言いながら笑顔を見せるのは私たちの同窓生、山本明彦さん。同商店街で祖父の代から3代続く食堂「御食事処 つたや」には映画監督の山田洋次さんや俳優の田中邦衛さんなどキラ星のごとく輝く映画人が足繁く通い映画談義を繰り返す。

### 生活の中心は「スキー」でした

そんな、山本さんの大学時代の思い出と言えはなんと「スキー」。幼少の頃から父親の影響でスキーに慣れ親しんだ山本さんは大学入学と同時に友人とスキー

変わっているの聞いてるので今度機会をみて遊びに行くことを楽しみにしていますよと屈託のない笑顔を見せてくれた。

### 映画で大映通りの活性化を

大映通り商店街の振興組合副理事長も務める山本さんは自らの店だけでなく、映画と共に発展してきた大映通り商店街の活性化にも一役買っている。

おこしも見えてきましたがいろいろ考えた結果、やっぱりこの商店街には映画しかないということに気づきました。映画を活用した事業を進めていくにつれ行政をはじめ、撮影所や地域の大学なども支援、協力してくれるようになって、ここ数年その輪はだんだんと大きなものになってきています。

やっぱり自分たちが自分たちで行動することが重要なんです。地域が活性化することで撮影所にも活気が取り戻し、映画と商店街が相互に発展していけたら、それは素晴らしいことですね」

昨今、大映通りは活気を取り戻しつつある日本映画の礎(いしずえ)を築いてきた故郷としてテレビや雑誌、新聞などの注目を集めている。通りの街路灯には映画撮影用のカメラを模したオブジェ、道路には映画フィルムのデザインが施され文字通り「キネマストリート」と呼ばれ人びとに親しまれている。

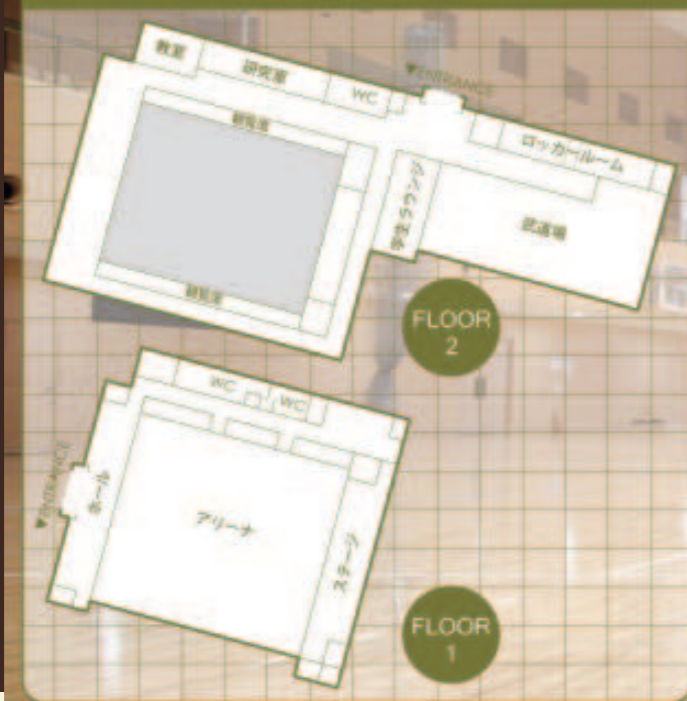
人びとの生活がいぎづく下町の商店街で映画と共に生きてきた山本さん、そしてこれからもその関係は変わることなく続いていく。山本さんが大映通り商店街を好きでいる限り。



# 待ちわびた新体育館、ついに竣工しました。

写真／本文：鈴木創介

## Gymnasium Floor Guide 体育館内施設案内図



みなさんご存知の通り、母校・京都学園大学の体育館は開校と同時に昭和44年に建設されたものです。当時は経済学部のみで単科大学で全学生数を300人と小規模で開学したものの、時代の交差の中で、現在は5学部、総勢4000人と文字通り総合大学へと発展しています。

その中で既存の体育館では授業をはじめクラブ活動などでも手狭な状況が続くと同時に、近年は老朽化も激しく、大宇式・卒業式などの行事利用にも不便で、新体育館の建設は悲願でした。

新体育館は昨年4月から着工し、今年1月に竣工となりました。今回建設された新体育館は延床面積5000㎡と大規模で、悠心館やバイオ環境館と調和したデザイン、大宇行事や各種イベントにも対応できる多目的利用の可能な体育館で1階

放りていく予定となっています。現役生のみならずには最新機器の揃った新体育館を最大限活用していただけて多くの経験を積んでもらいたいものです。

KUGUでは、野球場の改修工事が完了し、人工芝で夜間練習用照明の取り付けられた真新しいグラウンドがお目見えしました。



バスケットコートが2面取れる大型のフロアとバレーボールの公式戦も可能な高い天井は壮観！学生ラウンジは自然光の暖かな光でゆったりとできるスペースです。

のメインアリーナはバレーボールの公式試合に対応可能なように天井高12.5m、照度1000ルクスを確保されています。また、式典などでの利用も考慮し2階観覧席には260人が収容可能な椅子を設置し、ステージの両翼には150インチのスクリーンを配置、式典などの模様を同時中継することも可能です。2階武道場は剣道場と柔道場の複合型のもので、ほかに学生用ラウンジや研究室、講義室、ロッカールーム、シャワールームなど充実の設備が整っています。

記念の竣工式では、まず体育館の幕開けを告げるテープカットが行われ、辻本一彦理事長、波多野進学長、並河忠夫事務局長のお三方によって開館を宣言。辻本一彦理事長がこのような素晴らしい施設の建設にご協力いただきありがとうございます。

これは京都学園大学父母の会が学内施設の充実のため寄付したもので、外野グラウンドすべてに人工芝が張られ、一塁側と三塁側には大型のナイター設備が増設されました。

披露式典では波多野学長から父母の会へ感謝状が授与され、長田光彦父母の会前会長は「改修工事に父母の会が貢献できたことは大変嬉しい

ございました。スポーツの発展のためにも体育館を活用してほしい」と感謝のメッセージが寄せられ、メインアリーナに場所を移し波多野学長がバスケットボールを使用してフリースロー始球式で祝いました。

式典のあとはいよいよ各クラブが体育館のこけら落とし。真新しい匂いのする武道場では剣道部、柔道部、空手部、少林寺拳法部が威勢良く稽古を開始。部員の皆さんは「様に満足した表情で初稽古に動んでいました。またメインアリーナではバスケットボール部、体操部、バドミントン部が初練習。ピカピカに光るフロアを動き回り感触を確かめていました。

新体育館は今後、体育の授業やクラブ活動で使用されるだけでなく、市民や各種イベントにも開

ことです。学生諸君におかれましては、装いも新たなになった野球場で大いに力を発揮してほしい」と更なる飛躍を願い、硬式野球部の深井賢太郎主将は「素晴らしい設備を提供していただき感謝しています。この期待を無駄にすることなく選手一丸となって練習に励み、みなさんに恩返ししたいです」と強い決意を見せてくれました。



● New Arrival — 念願の神宮大会出場に向けて  
「みなさんの期待を無駄にしないよう  
部員全員一丸となって練習に励みたい」

# 産学官(公)連携窓口 リエゾンセンター設立

What's Liaison Center? リエゾンセンターとは

## 産学官(公)連携のながれ

イラスト: 横山いずみ(旧姓:有吉)  
1996年経済学部卒業

### リエゾンセンター概要

**技術相談**  
食品・醸造業、農業、林業、化学工業、廃棄物処理、環境保全、環境改善等に係わる技術・経営等についての相談受付、橋渡し等

### 研究開発

受託研究、共同研究の受け入れ、産学官の問題解決のためのコンソーシアム形成、競争的資金獲得のためのプロジェクト構築等

### 高大連携

入試業務とは直接には関わらない高校生、中学生のための理科教育、社会教育等に対する協力

京都学園大学の持つ教育研究機能を産官学および地域との連携を通じて、一層拡充・発展させることを目的に、本学にリエゾンセンターを設置しました。

同センターは、本学の所有している総合大学としての知的財産(経済学部・経営学部・法学部の社会科学分野、人間文化学部の人文科学分野、バイオ環境学部の自然科学分野)を有効に活用し、地域社会や企業として各公共団体との連携をとって社会に貢献していきたいと考えています。

社会との連携には学生諸君が欠かせない存在であり、学生時代から積極的に社会とふれあうことで、より実践的な研究活動に取り組むことが可能になると考えています。



リエゾンセンター事務長  
石原 祐次 Yuji ISHIHARA  
1980年経済学部卒業

産学官(公)連携、高大連携等の窓口となり、大学内外の橋渡しをいたします

大学が持つ知識、技術などの知的資源を社会に提供し連携することにより、社会の発展と大学における教育と研究に資することを目的としております。

近年このような大学の機能は、各大学で活発に展開されており、本学もバイオ環境学部の設置にともない、既存の経済学部・経営学部・法学部・人間文化学部の知能をも合わせてリエゾン活動を展開します。農業等の一次産業、バイオテクノロジーを含む二次産業及び地域環境をはじめとする環境保全、環境改善等における技術開発、経営展開さらには三次産業のサポート、起業相談などのお手伝いをいたします。

また、中等教育の深化のための出張講義体験入学についても積極的に取り組んで参ります。

産業界、自治体、市民団体、高校等の皆様がお気軽にご利用いただくことをお待ちしております。



**1st Step**  
ご相談窓口へご連絡ください  
企業のご担当者からリエゾンセンターに研究概要について、連絡と相談をお寄せください。



**2nd Step**  
センターによる事前打ち合わせ  
リエゾンセンターは、ご要望にお応えすべく、相談内容に関し事前打ち合せをして、研究者をコーディネートいたします。



**3rd Step**  
担当者と打ち合わせ、相談会の実施  
企業様の相談内容に対応できる研究者を紹介し、数回の相談会を実施します。(開発目標、研究スケジュール、研究内容、経費等)



**6th Step**  
研究結果のご報告  
本学より企業様への研究結果のご報告のうえ特許申請・学会発表など。



**5th Step**  
研究の開始  
研究開始。適宜、ミーティングを行い進行状況など連絡を取り合います。



**4th Step**  
研究契約の締結  
相談の結果、具体的な大学への研究依頼に至った場合は、大学との研究契約締結。(受託研究・共同研究・奨学寄付金等のとき)

## 「同窓会入試」同窓生の家族が対象の入試です

かねてより同窓会との連携を強化する一環として、大学内で審議を重ねてまいりました「京都学園大学同窓会入試制度」は2005年度からスタートし、今年度も同様に実施いたします。これは、本学の教育目的に賛同する卒業生または在学生の家族で、本学を第一志望とする受験生を対象に、模擬授業と面接・事前レポートで判定する入試制度です。

## 来年度の入試にお力添えをお願いします

また、2008年度の入試日程が下記のとおり決定しました。お子様はもちろん、お知り合いの方々にも、ぜひ受験をすすめていただきますようお願い申し上げます。なお、大学案内および入学願書は無料で差し上げますので、ご希望の方は本学入試課までにお申し出ください。

### 2008年度 同窓会入試概要

試験日	9月30日(日)
募集人数	経済学部・経営学部・法学部・人間文化学部・バイオ環境学部の各学科で若干名
出願資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高等学校もしくは中等教育学校を平成20年3月卒業見込みの者</li> <li>■ 通常過程による12年の学校教育を平成20年3月修了見込みの者</li> <li>■ 上記のいずれかに該当した上で、受験生の「父母」「祖父母」「兄弟姉妹」のいずれかが、京都学園大学あるいは京都文化短期大学を卒業した者、または京都学園大学に在学中の者</li> <li>■ バイオ環境学部は、調査書の平均点が3.5以上であること</li> <li>■ 専願であること</li> </ul>
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 志望学部・学科の模擬授業(レポート作成含む)</li> <li>■ 面接</li> <li>■ 事前レポート</li> </ul>
減免措置	初年度の春学期授業料から入学金相当を免除する

### 2008年度入試日程(人間文化学部 心理学科/メディア社会学科/歴史民俗/日本語日本文学学科は2008年4月開設予定)

制度	選考区分	学部	内容	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日(1次)	入学手続締切日(2次)	試験地	京	東	名	大	岡	高	福	
AO入試	前期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	エントリ、 模擬授業、面接	一次エントリ: 6/24(日)~8/26(日) 二次エントリ: 7/30(月)~8/31(金)	9/9(日)	9/29(土)	10/5(金)	12/21(金)	本学	○							
	後期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	エントリ、 模擬授業、面接	一次エントリ: 6/24(日)~9/15(土) 二次エントリ: 7/30(月)~9/21(金)	9/30(日)	10/20(土)	10/26(土)	12/21(金)	本学	○							
特技自己推薦入試		経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部	特長点+面接	10/1(月)~10/12(金)	10/21(日)	10/27(日)	11/9(金)	12/21(金)	本学	○							
公募推薦入試	A方式	経済学部 経営学部 法学部	英・国・数・地歴より 1教科1科目+評定平均値×10	10/9(火)~10/25(木) ※本学へ持参の場合、 10/26(金)・27(土)受付可	11/3(祝)	11/10(土)	11/22(木)	12/21(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	
		人間文化学部	英・国・数・地歴より 1教科1科目+評定平均値×10		11/4(日)												
		バイオ環境学部	英・数・理より 2教科2科目+評定平均値×20		11/3(祝)							○	○	○	○	○	○
B方式	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部	面接+評定平均値×10 面接+志願理由書 (※面接科目は推薦書の別添)	11/19(月)~12/6(木) ※本学へ持参の場合、 12/7(金)・8(土)受付可	12/15(土)	12/22(土)	1/11(金)	1/18(金)	※本学・地方	○								
	バイオ環境学部	英・数・理より 2教科2科目+評定平均値×10		12/15(土)													
一般入試	前期 [A日程]	経済学部 経営学部 法学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目	1/7(月)~1/16(水) ※本学へ持参の場合、 1/17(木)・1/18(金)受付可	1/24(木)	1/25(金)	2/2(土)	2/15(金)	2/29(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	
		人間文化学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目		1/26(土)	2/2(土)	2/15(金)	2/29(金)									
	バイオ環境学部	英・数・理より 2教科2科目		1/24(木)	1/25(金)	2/2(土)	2/15(金)	2/29(金)			○	○	○	○	○	○	
	前期 [B日程]	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目	1/21(月)~1/31(木) ※本学へ持参の場合、 2/1(金)・2(土)受付可	2/9(土)	2/16(土)	2/22(金)	3/7(金)	本学・地方	○	○	○	○	○	○	○	
後期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	英・国・数・地歴より 2教科2科目	2/25(月)~3/10(月) ※本学へ持参の場合、 3/11(火)・12(水)受付可	3/18(火)	3/24(月)	3/27(木)	3/27(木)	本学・地方	○		○	○	○				
センター利用入試	前期 [A日程]	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部	高得点2教科2科目	1/7(月)~1/18(金)	本学の個別試験等なし	2/16(土)	2/22(金)	2/29(金)	全国の大学入試センター試験会場								
		バイオ環境学部	高得点3教科3科目														
	前期 [B日程]	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部	高得点2教科2科目	1/21(月)~2/2(土) ※本学へ持参の場合、 2/4(月)受付可	本学の個別試験等なし	2/16(土)	2/22(金)	3/7(金)									
	バイオ環境学部	高得点3教科3科目															
後期	経済学部・経営学部 法学部・人間文化学部 バイオ環境学部	高得点2教科2科目	2/12(火)~2/29(金) ※本学へ持参の場合、 3/1(土)・3(月)受付可	本学の個別試験等なし	3/15(土)	3/21(金)	3/27(木)										
同窓会入試	全学部	模擬授業、面接、 事前レポート	9/10(月)~9/21(金)	9/30(日)	10/6(土)	10/12(金)	12/21(木)	本学	○								

※上記の持参受付時間(平日)9:00~17:00 (土曜)9:00~12:00

※公募推薦入試B方式: 経済学部・経営学部・法学部・人間文化学部は本学会場のみ

平成18年度  
京都学園大学

同窓会書  
決算

《一般会計》 (単位 円)

科目	決算額
前年度繰越金	3,683,232
会費	23,050,000
雑収入	9,204
収入の部合計	26,742,436

科目	決算額
事務費	2,078,700
人件費	120,000
事務補助費	1,958,700
会議費	973,253
会議費	407,273
交通費	565,980
事業費	15,786,860
会報発行費	4,827,254
名簿管理費	109,360
総会費	1,488,916
助成費	7,355,725
支部運営費	953,593
奨学費	960,000
慶弔費	92,012
積立金	5,000,000
基金積立金	0
事業積立金	5,000,000
予備費	0
翌年度繰越金	2,903,623
支出の部合計	26,742,436

人事告示板・退職のお知らせ

専門/発達心理学

専門/教職課程科目

流センター・図書館事務室

書館事務室

真剣に学び各自の課題に取り組み学生諸君を援助する七年間の仕事は、やり甲斐がありました。

同窓のつながりは、人生の各段階で意味をもつでしょう。私の場合も、六十歳を過ぎて仕事面でも家族生活面でも一区切りがついてから、大学で共に学んだ仲間と集う機会が増えました。

教職課程指導室五年間勤めさせていただき、その間関わった学生の多くが単に免許取得だけでなく、教職を目指すようになり大変喜んでいました。

一九九七年から二〇〇七年まで十年間の在職中、時々配属課に於いて「龍尾キャノンパス」学生編集委員、学生会役員、情報センターTAや外国人留学生、交換留学生、語学研修生、図書影生スタッフなど、多くの同窓生諸君との交流ができました。ありがとうございました。

その他の退職者

教員			
井形 浩治	坂本 直樹	福井 義一	スティーン・リッチモンド
職員			
谷口昌也	宮原 敏英	川田 治義	村松 留衣

小嶋 秀夫 教授  
(人間文化学部人間関係学科)



三替 宏孝 教授  
(経済学部経済学科)



大橋 勝司  
(事務局職員)



山内 タカ子  
(事務局職員)



就職への企業紹介のお願い

皆様もご存知のとおり、昨今の新規卒者の就職状況は学生の二分化が進むなか、厳正採用を強いられて以前にもまして厳しいものであります。つきましては、皆様様が在籍されておられます企業において新卒採用の求人等がございましたら、ご一報いただきたく申し上げる次第でございます。是非とも、後輩の一助となるようご協力をお願いいたします。なお、求人に関するお問合せ・ご質問等につきましては、下記の連絡先までお願い申し上げます。

京都学園大学キャリアサポートセンター  
TEL:0771(29)2260 FAX:0771(29)2269  
E-mail:career@kyotogakuen.ac.jp

お便り・同窓会への情報お待ちしております

近況報告、誌面への掲載希望や紹介、クラス会・OB会の報告など何でも結構です。お気軽に同窓会事務局へご連絡ください。

京都学園大学同窓会事務局 URL <http://www.gakuendai.com/>  
TEL:0771-22-2001(代) FAX:0771-29-2389  
E-mail:dousoukai@gakuendai.com

入試に関するお問い合わせは、

京都学園大学入試課 URL <http://www.kyotogakuen.ac.jp>  
〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1  
TEL.0771-29-2222(入試課直通)  
入試情報テレホンサービス 10771-24-8686  
E-mail:nyushi@kyotogakuen.ac.jp

大学での活動は、生活の糧に。あの時間を忘れず精進しよう！



みなさんのお手元にも届く「CHEER!!」の制作・編集作業にも協力させていただいています。今後もイキイキとした同窓生の表情をお伝えできればと思っています。

次は、皆越 茜さん  
(平成14年人文学部卒業)を紹介します

卒業して3年になりますが、在学中はレクリエーション研究会に所属し、大学のみならず亀岡や近隣地域でイベントを企画・運営したことを懐かしく思います。また、亀岡市との官学共同事業を実現できたことが今も人生の糧として、また素晴らしい思い出として鮮明に記憶しています。



鈴木 創介  
平成15年卒業  
人間文化学部文コミ学科

大学の変容ぶりにびっくり。自分を省みるよききっかけに。



写真は次回紹介を予定している吉野君と一緒にいるものです。彼は同じ会社にいる仲間であり、また私の直属の優秀なスタッフです。

次は、吉野 隆文さん  
(平成3年経済学部卒業)を紹介します

私は現在IT会社の役員として日々奮闘しております。少し前のことですが、またま仕事の関係で大学に寄る機会がありました。

全く想像できないくらい多くの施設が立ち並び、その変容ぶりに驚くばかりでした。この辺に食堂があったなあなど、当時のことが走馬灯のように思い起こされておりました。また当時と現在の自分を比べている私があり、家族のことや仕事のことなど、いろいろと出会いについて考えさせられました。当時のことを省みる機会をいただいた旧友には感謝しています。



上田 哲也  
昭和58年卒業  
経済学部経営学科

大学時代の友人たちに刺激された。切磋琢磨できる仲間へ感謝。



大学時代の懐かしの我が家です。3人でこの蒸し暑い部屋で飲み明かし、語り合った日々が今は遠く懐かしく感じられます。

次は、長田 隆さん  
(平成7年法学部卒業)を紹介します

私もそんな私の消極的な心を動かしたのは大学時代の友人兼ライバルである2人、高木康裕・長田隆の存在である。彼らには卒業後、この12年間でかなり差をつけられてしまったが、この先も彼らからよい刺激を受けつつ、もう一度大学時代の原点に戻り切磋琢磨していきたい。



杉本 学  
平成7年卒業  
法学部法学科

卒業生名簿の登録項目に変更はありませんか？

日本全国で市町村合併が行われましたが、皆様のお住まいの住所等変更ありましたでしょうか？ 同窓会事務局では、市町村合併に伴う住所変更手続き等を行っておりますが、毎回数百部のCHEER!!が返送されてきています。

配送する郵便局ごとに違うのですが、中には旧住所表記では合併後2、3年で届けてもらえない場合が多々あります。住所等に変更がありましたら、省略せず正しい住所表記で変更届けをお願いいたします。

京都学園大学同窓会事務局 URL <http://www.gakuendai.com/>  
TEL:0771-22-2001(代) FAX:0771-29-2389  
E-mail:dousoukai@gakuendai.com

ホームカミングデー・同窓会総会のお知らせ

ホームカミングデー

日時:平成19年10月26日(金)~28日(日)  
(本年の第39回龍尾祭は10月26日~10月28日までの日程で開催されます)  
場所:京都学園大学 光風館前テント  
(模擬店の金券なども用意しています。金券等は各日ごとに数に限りがあります。先着順に配布させていただきます。)

同窓会総会

日時:平成19年10月28日(日)  
場所:京都学園大学光風館会議室  
議題 ①前年度事業報告 ②前年度決算報告  
③今年度事業計画案 ④今年度予算案 ⑤その他

卒業生リレーエッセー

昭和48年に第1期生が卒業して以来30年、各界で多くの同窓生が活躍している。全国各地で離れ離れに暮らしていても、その原点はもろろん京都学園大学。忘れられない学園生活の思い出や現在の心境をリレー形式で綴ってもらおう。